

うきはまるごと体験！ うきは祭り 2017

11月4日、5日、うきはアリーナで「うきは祭り 2017」が開催され、大勢の方が会場を訪れました。

また、「第34回一の瀬焼陶器まつり」（11月3日から5日、浮羽町朝田）と「うきはウォーキング」（11月5日、浮羽体育センター）も同時開催され、市内外にうきはの魅力を発信しました。



▲ ステージイベントと出展ブースの数々



▲ 「食と農と健康まつり」（アリーナ内）



▲ うきは木育クラブ「木育ひろば」



▲ うきはを味わう、屋外の「飲食コーナー」



▲ 浮羽青年会議所「ふれあい動物広場」



▲ 地元農産物のトップセールス

11月14日、福岡市中央卸売市場「ベジフルスタジアム」で、久留米市・うきは市・JAにじが連携し、旬の柿をはじめとした地元農産物のトップセールスを行いました。



▲ 第34回一の瀬焼陶器まつり

11月3日から3日間、一の瀬焼（浮羽町朝田）6窯元で陶器まつりが開催され、コーヒーカップなどが展示販売され、家族連れなどが窯元めぐりを楽しみました。



▲ 市内への「修学旅行」誘致

市観光協会などでは、うきはならではの体験メニューを活かした修学旅行の誘致に取り組んでいます。(写真=10月27日、長崎県雲仙市立千々石中学校2年生が観光農園で柿狩りを体験)



▲ 高齢者の健康増進「健康麻将」

(お金を)賭けない、(タバコを)吸わない、(お酒を)飲まないの3原則のもと、健康^{マージャン}麻将(麻将は麻雀と同意)が吉井地区自治協議会で取り組まれています。(写真=11月8日開催「第2回うきは市長杯」)



▲ 究真館で続く「地域清掃活動」

11月2日浮羽究真館高校1年生全員で、社会の一員という自覚と愛郷心を育てる目的で開校以来続く、地域での清掃活動を行いました。(写真=JR 筑後吉井駅駐輪場での清掃や自転車の整頓)



▲ ふれあいラグビー教室

地域の中学生を対象にした「第6回ふれあいラグビー教室」が11月3日浮羽究真館高校で開催され、近隣から集まった中学生40人がラグビー部員の指導のもと、タックルの練習などで汗を流しました。



▲ 千年小学校4年生が“さとうきび”栽培と“黒砂糖”作りを体験

市内でも昭和30年ごろまで、さとうきびが栽培され黒砂糖が製造されていました。

千年小学校では体験学習の一環で、千年さとうきびの会の協力を得ながら、11月7日学校農園で、4年生がさとうきびを収穫しました(写真左)。また、11月9日筑後川河川敷・中島畑で、さとうきびを機械で絞り、絞り汁を鍋で煮て黒砂糖に加工する工程も体験しました。

